

令和4年度

「薩摩川内元気塾」

【アイスブレイクを用いた良好な集団(仲間)作り】



薩摩川内市下甕の海星中学校は、第一幼児教育短期大学(霧島市)の伊達幸博専任講師を招き、良好な仲間のつくり方を学んだ。写真。全校生徒24人が、さま

ゲームしながら
仲間づくり学ぶ

薩摩川内・海星中



ざまな道具を積み上げて高さを競う「マシユマロチャレンジ」を体験。助け合う大切さを実感した。

教室は6月24日に学校で開かれ、前半は初対面の人と会った際、緊張をほぐす「アイスブレイク」の指導を受けた。後半は4人一組に分かれて「マシユマロチャレンジ」で競い合った。生徒らはそれぞれ意見を言ったり、相手の考えに納得したりしながら「いい集団とは」を学んだ。

1年の松永空太さんは「先輩と交流できて、知らない一面を見られて楽しかった」。3年の中村朱羽優さん「人前で挑戦したり、発表したりするのは苦手だけど、これからは何事にも挑戦できる人になりたい」と話した。
(高嶺千史)

南日本新聞掲載【7月3日】